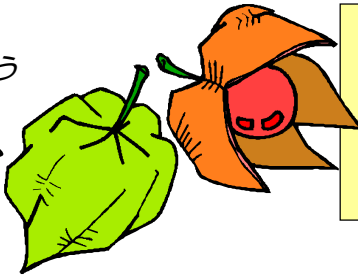


米 山 峰



発行日 2005年 10月(第14号)
発行者 新潟県柏崎マリーナ

〒945 0854 新潟県柏崎市東の輪町 8 18
:0257 21 1255 FAX:0257 21 1670
E-mail k_marina@orion.ocn.ne.jp
URL http://www.kanreku.jp/marina

お知らせ

指定管理者制度の平成18年度導入について

新聞紙上にも掲載のとおり、当柏崎マリーナを含めた全国の公共施設の運営方法が法律の改正により変更され、「指定管理者制度」という制度が導入されることとなりました。これは、いままでは公共施設の管理をできる団体が公共団体や第三セクター、準公共団体等に制限をされていたものが、広く民間が管理することに門戸を広げるものです。

柏崎マリーナにおいても、平成18年4月から制度を導入するため、資格を法人に限って10月現在公募中です。複数の団体からの応募があれば新潟県が選考する予定です。何人かの方から問い合わせを頂戴しておりますが、詳しくは、新潟県のホームページをご覧いただきたいと存じます。

今後は、11月中旬に指定管理者の選定を進め、12月の新潟県議会にはかり、決定するスケジュールです。現在マリーナを運営する私どもも公募に申請を行いますが、結果が出次第、マリーナのホームページ等でお知らせをいたします。

11月の営業日および年末年始の休港日について

- ・11月22日(火)は本来定休日となっておりますが、翌23日(水)が祝日のため営業させていただきます。そのため定休日は24日(木)に変更させていただきます。
- ・12月30日(金)~1月2日(月)および1月4日(水)は休港日となっております。新年は1月5日(木)から営業となっております。なお、昨年に引き続き12月29日(木)と1月3日(火)の両日は営業させていただきますので、ぜひご利用ください。

共同上架のご案内

下記、両日に大型桟橋艇の共同上架を実施いたします。当日は駐車場等の混雑により他の利用者の方々にはご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、詳細についてはマリーナまでお問い合わせください。

<日 時> 11月 5日(土) 9:00~12:00 (予備日:11月6日(日)を予定しています。)
11月 9日(水) 9:00~12:00 (予備日:改めて実施日をご連絡いたします。)

「柏崎市海交流事業」開催しました

去る7月17日(日)に「海の日」の記念イベントとして、普段マリーナに縁のない一般の方々にもボートやヨットを体験していただく「親子体験乗船会」が行なわれました。乗船後にはメンバーとの「交流会」、また、当日実施されたKMOC様主催の「キス釣り大会」表彰式なども同時開催されました。

当日は、晴天で風も良く絶好のコンディションの中、のべ200人にも及ぶ一般の方々が集まり、参加者には柏崎の美しい海を十分に満喫していただけたのではないかと思います。

また、交流会では美味しいバーベキューのお肉をいただきながら、大人の参加者には生ビールも振舞われたりと、親子揃って楽しめたようです。

キス釣り大会では初回ながら30人程の参加者が集まり、当日はどの船もたくさんのキスを釣って帰って来られ、大いに盛り上がりました。



(上)「海交流」開会式。金子実行委員長の挨拶。
(下)おもしろなバーベキューに長蛇の列が!



(上)乗船会はベタ風で船酔いした方はゼロでした。
(下)キス釣り大会表彰式にてトロフィーの授与。

04年度「会員懇親会」の開催

今年も「柏崎マリーナ会員懇親会」を12月3日(土)に開催いたしますので、皆様お誘いあわせの上ぜひご参加ください。(別紙に申込書を同封いたしましたので詳細はそちらをご覧ください)

「ボート操縦免許」更新・失効講習

毎年開催しております更新・失効講習会を来年の2月5日(日)に開催いたします。今回該当される方々には個々にご案内を差し上げますが、お知り合いの方などでご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひマリーナまでお問い合わせください。なお、詳細は11月下旬にお知らせいたします。

告知コーナー (柏崎マリーナオーナーズクラブ「KMOC」様)

柏崎マリーナ・オーナーズ・クラブ総会のご案内

12月3日 柏崎マリーナ会員懇親会にあわせて、柏崎マリーナ・オーナーズ・クラブの総会を開催いたします。

会場は、懇親会と同一会場のメトロポリタン松島で、懇親会の開催前15分程度の時間を戴き、総会を行います。総会は、6時15分から30分までを予定しておりますので、総会出席者は、事前に懇親会受付けを済ませてからご入場ください。

総会終了後、引き続いて懇親会を開始いたしますので、クラブ会員以外の方も、会場にお入りいただいて結構です。

なお、年間大物賞の表彰式は、マリーナ利用者全員を対象としていますので、懇親会の中で行います。

以上

ビジターさんいらっしゃい!

去る7/14(木)~7/16(土)の3日間、ビジターで日本一周中のヨットが当マリーナに入港・滞在されました。当日は能登から乗船されてきたお仲間の方(当日長岡から新幹線で東京へと帰って行かれました)とお二人での入港でした。



バウのフェンダーは心配した甥っさんが取付けたもの

- ・お名前: ^{かさがみ} 笠神 ^{よしあき} 義彰 (65) ・ヨット暦: 35年 ・お住まい: 東京都江東区
- ・船名: かさぐも (ジャヌー30)
- ・ホームポート: 銚子マリーナ ご自分のヨットは浦安マリーナ (浦安オーシャンクラブ所属) に保管してある (ヨコヤマSR 30; かさぐも7世) のだが、レース艇なので日本一週には向いていないため、甥っさんの船を借りている。ちなみに弟さん (この船のオーナーである甥っさんの父) は銚子マリーナに2艇ヨットを所有 (船名はこちらも「かさぐも」)
- ・航海の目的 (動機): 長年勤めていた会社 (タクシーの運転手さん) の定年退職を機に、ヨットをはじめたところからの夢であった「日本一周」を決意する。奥様には『定年後やることもなく家でごろごろされるよりはましだろう』と説き伏せ、なかばあきらめにも近いご了承を得て、一ヵ月後の4月には世間から逃げるようにホームポートを出発。
- ・ルート: 2005/4/5 から半年の日程でスタート。銚子マリーナ 四国 種子島 屋久島 枕崎などを周り、ゴール予定日を9月末~10月初め頃に設定。本当はもう少しゆっくり (1年くらいかけて) 周りたかったが、甥っ子に早く返さなきゃならないため、半年以内で計画。
- ・航海中楽しかった (感動した) こと: 「長年の夢だったので毎日が感動の連続で毎日が楽しい。釣りが好きなので、航海中にトロリングでサワラ・イナダなどを釣るのも楽しみ」なのだそう。
- ・苦しかったこと: 笠神さんいわく、「元来つらいことが嫌いな性質なので、波が高けりゃ引き返すなど 全然無理はしていないので、当然つらかったこともない。」とのこと。なるほど、苦しくストイックな生活が好きならいざ知らず、「そんな思いをするくらいなら初めからこんな航海してませんよ!」ともおっしゃっていた笠神さんの言葉に納得させられました。



オーナーの笠神さんと「かさぐも」

- ・ **今後の予定**：この航海が終わったら、以前勤めていた会社から声をかけられているので、タクシー運転手のアルバイトをするつもりだそうです。
- ・ **関東のマリーナの保管料金について**：参考までにお聞きした所、浦安マリーナでは30ft = 78万円、夢の島マリーナでは、10mまでで108万円！とのこと。その代わり太平洋側では一年を通じて船に乗れるそうです。（特に冬はヨット乗りには風が強く、波が少ない日が多いため）
- ・ **航海を始めるにあたっての費用**：最初に100万円を用意。（装備品を購入し、すぐに足りなくなった。）節約したければ装備品を削ればいいし、金は使おうと思ったらいくらでも使えるものとのこと。（航海中の便利さを買うようなもので便利にしようと思えば際限がない！）

・ **艦装品について**：ビジターで帰港される長距離航海者の方々には毎度感心させられますが、今回の笠神さんの船にも数々のオリジナリティー溢れる艦装が施してありました。そのどれもが長距離航海するにあたって基本的なものばかりで、特別なものや不必要なものは殆どありませんでした。



自作の日除け

そのほんの一部をご紹介させていただきますと、まずは照りつける直射日光から身を守るための日除け。長距離ならずとも必須の装備の一つですが、お金を出して買うのは誰でもできること。



ゲタを履かせた係留用フェンダー

通常既製品を購入すると5~10万位と高価ですが、それを笠神さんは材料をホームセンターで仕入れご自分で作ったそうです。かかった費用は何と5千円！既製品の1/10以下の予算でもやる気次第でこんなに立派なものが作れてしまいます。

次に初めて寄港する港ばかりの航海では、係留という作業は最初の難関。それをいかにストレスなく終わらせるかというのは何も長距離航海者に限ったことではなく、日々の桟橋への係留にも言えることだと思います。写真にもあるように2本のフェンダーの上に板を渡せば何本もプラプラとフェンダーをぶら下げておかなくとも十分にその役目を果たし、むしろ漁港などの整備されていない岸壁に柔らかいフェンダーを擦り付けるよりは丈夫で破裂の心配もなく安心して付けることができそうです。

その他にもレイジージャックの遊びをショックコードで調整することによるセールの擦れ防止といったものから、デッキ上で転がっていて足を引っ掛けやすいスピンポールのマストへの設置、落水事故で遭難にもつながることのあるブームパンチ防止のための装置など細かいものまで言えば数え切れない工夫が施されており、驚くことにそのすべてが手作りという点にも関心させられました。元々甥っ子さんの船ということもあり、『返すときに取り外ししやすいように極力加工せずに設置する』という前提があったからこそそのアイデアなのかもしれません。



（上）男らしさを感じさせる？シンク周辺
（下）欲しいものが一目でわかる？パウバース



・ **その他必要なもの**：太平洋側は日本海側に比べ干満の差が激しく、サイドステにはしごをくりつけて登る程だそう！そのため長期航海では折りたたみができ、軽くて丈夫なアルミ製の脚立は必須！だそう。あとは名刺（とにかく初対面の人ばかりの旅。自分という人間を手っ取り早く知ってもらうにはこれが一番とのことで、笠神さんの名刺には「日本一周挑戦中！」と書いてありました。）

・ **一ヶ月の生活費・総予算はどのくらい必要か？**：これは皆さん興味のある所だと思いますが、本当に使い方次第で、各地で観光しようと思えばかかるし、そうでなければ食費だけなので、年金でも十分やっていけるとのこと。（あとマリーナ施設利用料金+燃料代くらい）

・ **最後に...**：「普通のサラリーマンの私でも出来るぐらいだから、皆さんでも必ず実現できます」という心強いお言葉をいただきました。会報が発行される頃には、笠神さんも普通の生活に戻っていらっしゃる事と思いますが、いつかまた航海を始めた際には、また寄ってお話を聞かせていただきたいと思います。

お勧め携帯サイト 「お天気ナビゲータ」 <http://n-kishou.com/corp/otenkinabi.html>

（携帯電話用に開発された気象情報サービスで、全国の港 370 ポイントの詳細な気象状況をほぼリアルタイムに（3時間おき）表示してくれます。利用料金も安く月額105円とのことですから皆さんも導入を検討されてみてはいかがでしょう）笠神さんはパソコンが苦手らしく、船内には積んでいない様子。最近、長距離航海者の中で必需品の「新3種の神器」ノートPC、ハンディGPS、データ通信用携帯電話（またはPHS）ですが、笠神さんのように低予算でも十分長距離航海ができる事がわかりました。

工場便り

プロペラへの釣り糸絡みについて

プロペラシャフトに釣り糸が巻き付き、オイルシールからオイル漏れを起こすケースが最近増えています。釣りをしていて不幸にもプロペラに糸が絡んでしまったら、帰港した際忘れずに職員までお知らせください。すぐにプロペラを取り外して糸を除去し、オイルシールを点検いたします。表面的に全部除去したつもりでもプロペラ内部にはかなりの糸が残っていることが多く、その時はご自分で取ったつもりでも、後々それが原因でオイルシールがやられ、ギアオイルのオイル漏れにつながることも多いのです。(その殆どが化学繊維である釣り糸は、プロペラの高速回転による摩擦熱で高温となり、水あめのように溶けだしてオイルシールのパッキンを溶かしてしまう)釣り糸が絡むのはよくあることですが、初期の段階できちんと対処しておけば出費もかさまらずに済むことが多いので、お気を付けいただきたいと思います。



プロペラを外したら釣り糸がこんなにびっしりと!!



巻き付いた釣り糸は残らず切り取ります。



きれいに除去し点検も完了しました。



除去した釣り糸類。こんなにありました。

保管艇数

下記の数字は 10 月 25 日時点のものです。

柏崎市内	77	42.3%
刈羽郡内	5	2.7%
新潟県内	78	42.9%
県外	22	12.1%
合計	182	

DY (ディンギー)	6	3.3%
UB (和船)	9	4.9%
MB (モーターボート)	134	73.6%
CY (クルザーヨット)	33	18.1%
合計	182	

掲示板

マリナー内での引き波についてのお願い

モーターボートは、その殆どが船首を上げて滑走して走るタイプの船ですので、スピードを出そうすると、その構造上どうしても大きな引き波が立ちます。外海では波やうねりなどの影響がありますし、ある程度速度が出ていないと舵も効きづらく安定しないということがあります。港内(マリナー内)では強風時や緊急時以外は1,000回転以下の移動で十分と思われます。それ以上回転を上げますと、周辺全体に大きな引き波が立ち、桟橋に係留してある他の利用者の船が大きく動揺します。また、自艇に係留する際にも大きくその影響を受け、デッキ上の人や落水することもあります。マリナーには船に慣れていない方や子供さんも多くいらっしゃいますので、未然に事故を防ぐ意味でもぜひ皆様のご協力をお願いいたします。



全速力での入港!!



スロットル全開のUターン!



桟橋付近での大きな引き波!

船台キャスターのメンテナンス

シーズンオフのこれからの時期に、シーズン中に酷使した船台のキャスター(車輪)メンテナンスを毎年行なっております。内容は、ベアリングへのグリスアップで、キャスター内に浸入した海水の押し出しと、ベアリングの潤滑に欠かせない耐水グリス補充です。最低でも年に1回はグリスアップを行なわないと、異常磨耗によるベアリングの破損にもつながり、船台を移動できない状態になってしまいます。またグリスアップと同時にサビ落とし&サビ止め塗装も行なっており、消耗品とはいえキャスターが出来るだけ長く使用できる様なメンテナンスを心がけております。毎年のメンテナンスをご希望の方はマリナーまでご連絡ください。

